

□議員名：河野朋子

## 1 事業評価について

論点	現在の事務事業評価のシステムについて、目標設定や経過指標など問題があるのでは。どのように改善していくのか。
回答	事業によっては、成果や目標値の設定がなじまないものもあり設定に苦慮している。職員の共通理解が十分でないため、作成のマニュアルを作り、職員説明会を昨年度、今年度と実施した。また新規職員研修の中で事務事業評価の仕組みについて説明を行っている。

## 2 給食センター建設について

論点	給食センターを、1か所から2か所に変更する理由について、これまでの説明と矛盾はないか。
回答	パブコメを受けて実現可能な2センターにした。2か所にすると配達時間にゆとりが出て調理時間の不足が解消でき、1か所の調理員の数も減り食中毒の発生率が低くなるので、教育委員会としては2か所に修正したが、現在は財政面などで市長部局と協議中である。

論点	米飯委託の契約形態について、どのような仕組みになっているのか。市と業者の直接契約でないために安全面で指導ができないのでは。
回答	県学校給食会が業者と委託契約し、各学校が教育委員会通じて県学校給食会に注文している。非常に複雑な仕組みであるが、文科省の通達でこのような契約をすることとなっている。安全面の指導も通達のもとに行われている。

論点	米飯委託費が給食費を圧迫しているため、自校炊飯で米飯回数を増やすとのことだったが、委託を続けるとそれができないのでは。
回答	加工賃、材料費については県学校給食会と業者の契約の中で決まるので、市は直接価格の交渉はできないが、将来的には米飯は徐々に増やしたいと思っているので、我々の希望等は伝えたい。